


令和2年度 都立学校・学校経営シート

校章	 都立久我山青光学園 視覚障害・知的障害		通学区域	視覚部門)都内全域 知的部門)世田谷区(一部地域を除く)
	「確かさ(専門性)」と「愛情(教育愛)」		進路実績	視覚部門)H31中学部卒業生全員進学(盲学校高等部・普通高校) 知的部門)H31中学部卒業生全員進学(知的特別支援学校高等部へ)
基本情報	所在地	〒 157-00061 世田谷区北烏山四丁目37番1号	電話番号	03-3300-6235
	アクセス	(1) 京王井の頭線・久我山駅より徒歩10分 (2) 京王線・千歳烏山駅より関東バス「久我山病院」行きにて「國學院前」下車、徒歩5分 (3) 京王線・千歳烏山駅より徒歩25分	教育課程の特徴	① 視覚障害の教育課程(準ずる教育課程と知的障害を併せ有する児童・生徒の教育課程) 知的障害の教育課程(普通学級の教育課程、自閉症の教育課程、重度・重複の教育課程)
設置学部	視覚部門)幼稚園部、小学部、中学部(併せて寄宿舎を設置) 知的部門)小学部、中学部	② 個別指導計画に基づいた効果的な指導		
本情	幼児・児童生徒数	視覚部門)幼稚園部7名、小学部41名、中学部20名(計68名) 知的部門)小学部167名、中学部92名(計259名) 全校合計327名	副籍実況	③ 障害の特性等に応じた自立活動の充実
	学級数	視覚部門)幼稚園部3学級、小学部12学級、中学部7学級(計22学級) 知的部門)小学部32学級、中学部18学級(計50学級) 全校合計72学級		④ 地域の小学校・中学校等との交流教育、副籍事業の積極的な実践
報	スクールバス	視覚部門)2台 知的部門)9台	学校評価	⑤ 地域の企業や進学先と連携した就業体験の実施
	その他	視覚部門寄宿舎利用児童・生徒31名		保護者:視)100%、知)95% 教職員:視・知ともに100% 評価委員会からの提言…①「社会に開かれた教育課程」「地域と共にある学校」を実現するための保護者や地域との教育内容の共有化。②若手教員育成。③災害時対策等近隣住民との緊密な連携。④アセスメント・専門家からの助言等について保護者が理解しやすい平易な内容での説明。⑤社会性及び人権感覚育成、いじめ撲滅のための道徳教育、交流教育の充実。⑥子供たちが安心して通学できる学校実現に向けた各種対策の実施。
目指す学校		<input type="radio"/> 幼児・児童・生徒一人一人の人権を尊重し、障害の特性等に応じた、生きる力を育む「確かな」教育を推進する学校 <input type="radio"/> 個性を伸ばし、豊かな人間性や社会性を育み、自立と社会参加を目指した「愛情」あふれる教育を推進する学校		

今年度の重点目標		今年度の取組と自己評価							
----------	--	-------------	--	--	--	--	--	--	--

目標①	視・知併置校としての特色ある学校運営 ・新学習指導要領のもと、これからの10年、本校の指導の変遷をまとめた「久我山青光ベーンブック」を基本に知的障害や重複障害の教育、準ずる教育のさらなる充実と専門性の向上を図る。・両部門のシナジー効果を発揮し、子供の可能性を見つけ伸ばす教育を実践することで、保護者の期待に応える。								
目標②	専門性向上を図る研修の充実と学び合い ・オリンピック、パラリンピック教育の推進 ・社会貢献活動等を通じた自己有用感の醸成 ・大学等専門家や外部専門員等の外部人材を活用しての研修、子供の実態把握の実践 ・新学習指導要領を踏まえた指導をテーマにした研究の推進 ・知的部門:自閉症教育の推進 ・視覚部門:デジタル教科書の活用								
目標③	特別支援教育のセンター的機能の発揮 ・視覚部門:国立成育医療センター眼科での教育相談の実施、及び近隣地域への支援。・知的部門:知的障害のセンター校として、世田谷区小学校等への支援の実施。・視・知両部門:就学前育児相談の実施。障害児者の進路に関する情報提供。								

数値目標	今年度の数値目標の内容	29年度		30年度		31年度		今年度		03年度	04年度	05年度
		目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	目標	目標
目標①	外部人材を入れたアセスメント実施回数	80回	85回	80回	83回	80回	85回	82回		80回	80回	80回
目標②	漢字検定、珠算検定、英語検定合格数	40人	45人	40人	31人	30人	31人	36人		35人	40人	40人
目標③	早期教育相談や入学相談、巡回相談等の充実…相談対応の充実と件数の拡大	500件	675件	500件	625件	500件	521件	525件		500件	500件	500件

視覚障害教育部門

<視覚障害教育部門の紹介>

- 1 視力がおおむね0.3以下の、拡大教材を使う弱視児と点字教材を使う盲児、及び、視覚障害と他の障害のある重複障害児に、個別指導計画を基に専門的できめ細かな指導を行い、確かな学力と確かな生活力を身に付けます。普通学級では、通常の学校とほぼ同じ教育課程で授業を行い、重度・重複学級では、一人一人の発達に合わせた授業を行います。
- 2 寄宿舎では、基本的な生活習慣の確立とともに、生活を豊かにする自立心の育成をはかる指導を行います。
- 3 近隣の保育所、小・中学校、児童館及び副籍校と授業や行事を通じた交流活動を行います。
- 4 地域に積極的に授業を公開し、様々な専門家の授業評価をもとに、より良い教育を目指します。

学校生活・教材の紹介

<学校生活の紹介>

- ・見え方や発達段階に応じて、点字や拡大文字、触察教材を使い学習を進めます。
- ・自立活動では、社会自立に向けた基礎力を身に付けます。
- ・寄宿舎では、基本的な生活習慣の確立や、みんなと協力して生きていく力を育てます。



幼稚部(さわる・つくる)



小学部(総合的な学習の時間)



中学部(外国人講師との学習)



校外学習の様子(小学部)



自立活動の様子(歩行指導)



寄宿舎の生活(掃除)

<教材の紹介>

幼児・児童・生徒の見え方や発達段階に応じて、様々な教材・教具・補助具などを使いながら学習します。その一例をここで紹介します。



単眼鏡



拡大読書器



触察教材(触る絵本)

知的障害教育部門

<知的障害教育部門の紹介>

- 1 知的に障害のあるお子さんのための部門です。小学部、中学部を設置しています。愛の手帳をすでに取得されているか、または医療相談等で愛の手帳を取得できるお子さんが対象となります。
- 2 普通学級を知的障害の教育課程と自閉症に特化した教育課程の2つの教育課程に分け、さらに重度・重複の教育課程を加えた3つの教育課程で障害特性に応じた教育を行っています。
- 3 アセスメントを実施し、きめ細やかな実態把握に基づいて個別指導計画を作成し、個々の児童・生徒のニーズに応じた学習を行っています。
- 4 特別支援教育のセンター校として、積極的に授業公開を行うとともに、知的障害教育外部専門員を活用し特別支援教育の専門性の向上や授業改善に努め、より良い教育を目指します。

学校生活・教材の紹介

<学校生活の紹介>

- ・日常生活の指導の中で、自分でできることを増やします。
- ・学級集団を基礎に友達や先生との豊かな関わりを育てます。
- ・国語・算数(数学)はグループ学習と個別学習で構成されます。
- ・体育(保健体育)の中で健康なからだづくりを目指します。
- ・将来の生活を見通した進路指導の充実を図ります。



小学部(国語・算数)



中学部(国語・数学)



小学部(生活単元学習)



中学部(作業学習)



小学部(音楽)



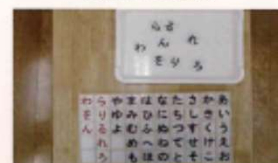
中学部(美術)

<教材の紹介>

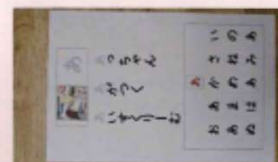
児童・生徒一人一人の興味・関心や発達段階に基づいて、身に付けたい力を様々な教材・教具を使いながら学習します。使用している様子を紹介します。



視覚教材(小学部)



認知教材(小学部)



プリント教材